

Detect

zcrNMS

ネットワーク・インフラ監視

zcrNMSは、デバイス、サーバー、アプリケーションの可用性、性能、容量、サービス健全性を監視するネットワーク・インフラ監視プラットフォームです。

対象	ネットワーク運用チーム・インフラチーム・ITサービス管理・マネージドサービス事業者・企業IT部門
運用上の課題	小さな問題が停止へ発展する前に、ネットワーク、サーバー、アプリケーション、サービスの健全性をチームで共有できる視点が必要です。
監視対象	スイッチとルーター・ファイアウォール・サーバーと仮想マシン・クラウドサービス・データベース・アプリケーションとAPI
導入形態	クラウド監視（SaaS）または顧客インフラ上の仮想アプライアンスから、ソリューション設計時に選択します。zcrNMS向けのハードウェアアプライアンスは現時点で公開していません。

主な機能

- ネットワーク、サーバー、アプリケーション、サービスの監視
- 自動検出とトポロジを考慮した表示
- SNMP、エージェント、API、カスタムメトリクス収集
- しきい値、異常、依存関係を考慮したアラート
- ダッシュボード、レポート、容量傾向、SLA表示
- チケット、チャット、運用ワークフローとの連携

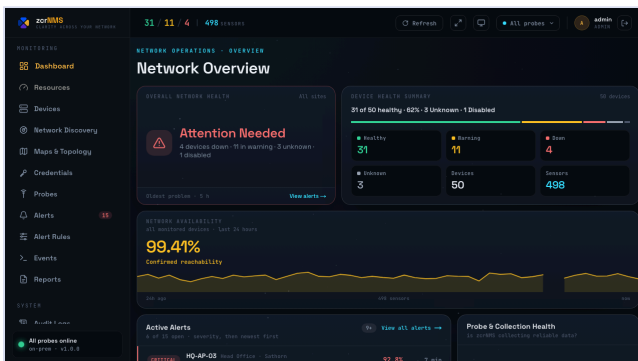
zcrNMSの仕組み

監視シグナルを運用アクションへ

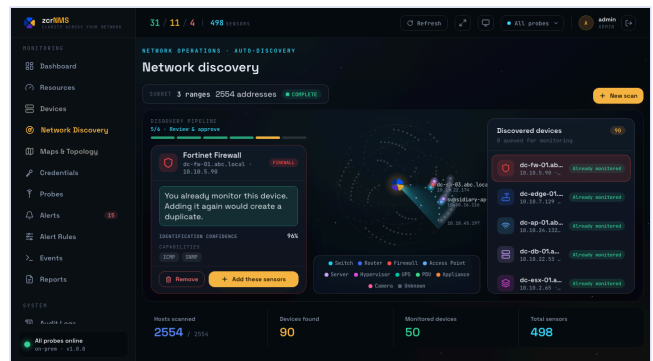
zcrNMSは、機器検出、メトリクス、トポロジー、アラート、ダッシュボード、レポートをインフラチーム向けの一つの運用画面にまとめます。

インフラ監視で得られる効果

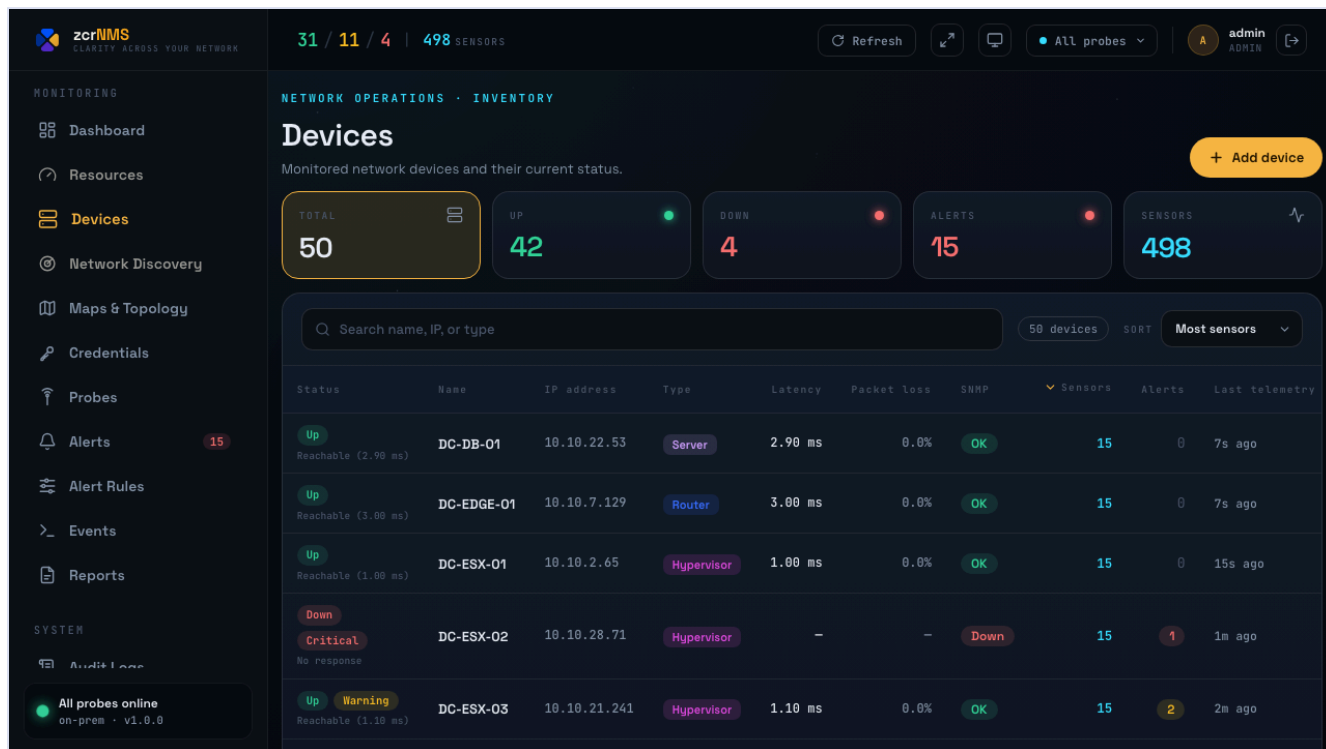
- **早期検知** — 可用性や性能の低下を、事業影響が発生する前に把握します。
- **迅速な切り分け** — アラートを機器、依存関係、トポロジー、サービス情報と結び付けます。
- **確かな容量計画** — 傾向データから増強時期を判断し、リソース枯渇を防ぎます。
- **明確なレポート** — サービス健全性とSLAの実績をIT部門と関係者で共有できます。



ネットワーク運用の全体像：ネットワーク健全性、可用性、進行中のアラート、プローブのカバレッジを1つの画面で確認します。（デモ環境の例であり、実測値ではありません）



ネットワークディスカバリー：監視対象のデバイスを検出・整理し、運用リスクにつながる可視性の欠落を抑えます。（デモ環境の例であり、実測値ではありません）



デバイスの健全性：アラートからデバイス単位の健全性、性能、監視コンテキストへ進みます。（デモ環境の例であり、実測値ではありません）

zcrNMS よくある質問

zcrNMSは何を監視しますか？

ネットワーク機器、サーバー、仮想インフラ、アプリケーション、API、サービス健全性を監視するために設計されています。

zcrNMSはどのような位置付けですか？

ZabbixやPRTGのような可視性と、ZCRの運用ワークフローを必要とするチーム向けのインフラ監視プラットフォームです。

導入・運用と商用範囲

クラウド監視	ホステッド監視とマネージドコレクターですばやく開始します。
仮想アプライアンス	監視基盤を組織内のプライベートインフラで運用します。
全プランに含まれる機能	分散コレクター、RBAC、レポート、連携機能は、すべてのセンサープランに含まれます。
ライセンス	監視対象センサー数に基づく年間契約です。公開プランは zcr.ai/pricing/?lng=ja に掲載しています。範囲、保持期間、導入形態、サポートはチャネルパートナーの見積もりで確定します。センサー1つは監視項目1つです（例：機器1台への ping、1つのインターフェースの帯域幅、サーバー1台のCPU）。一般的な機器1台で複数のセンサーを使用します。

説明責任を支える運用監視

zcrNMSは、可用性の監視、アラート履歴、レポート、担当管理を通じて、追跡可能な運用証跡を作成できるよう支援します。

サポート：一次サポートはチャネルパートナーが提供し、zcrはパートナーに製品サポートを提供します。

zcr.ai のチャネルパートナーに相談

監視範囲、連携、導入規模についてzcr.ai のチャネルパートナーへご相談ください。

チャネルパートナーに問い合わせる ↗

zcr.ai/contact/?lng=ja